

定家

TEIKA

廣田 幸稔
H i r o t a Y u k i t o s h i

狂言 伊文字 善竹 隆平

ごあんない 大谷 節子



面／瘦女 鬘帶 (金剛家蔵)

第十一回廣田鑑賞会能

平成二十年十月五日(日)

午後一時半始曲(開場十二時半)



文化庁 平成20年度芸術創造活動重点支援事業



◆料金／【一般】8,000円【会員】7,500円【学生】3,000円

◆主催／廣田鑑賞会 ◆指導／宗家 金剛永謹 ◆後援／金剛会・京都新聞社

会場 金剛能楽堂

TEL.075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

第十一回 廣田鑑賞会能

午後一時半始曲 金剛能楽堂

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会にご支援を頂き、ありがとうございます。
お蔭様にて当会も第十一回目を迎え、今回は大曲「定家」を舞わせて頂きます。藤原定家と式子内親王との恋の妄執がテーマですが、主人公は内親王という高貴な女性なので、曲の位は高く保たなければなりません。恋の妄執という人間的な苦しみと、内親王という位とのそのどちらも保ちつつ、同時に演じる難しさがあります。古い書物に「此能重々習心持あり」とされる由縁の、流儀でも三番習いの大切な曲です。

狂言は歌にかけて「伊文字」をお楽しみいただきます。ごあんないは中世文学・和歌が専門の神戸女子大学教授・大谷節子氏にお願いをいたしました。お忙しい時期とは存じますが、秋のひとときを金剛能楽堂でお過ごし頂けます。ご高覧を、お待ち申し上げております。

平成二十年 皐月 吉日

廣田 幸稔

◆ 番組

◎午後一時半始曲

狂言 伊文字

善竹 隆平

善竹 隆司
善竹 忠亮

後見 上吉川 徹

ごあんない 神戸女子大学教授 大谷 節子

― 休憩 ― 二十分

能 定家

廣田 幸稔
高安 勝久
間 善竹 忠一郎

河村 大 一噌 庸二
久田舜一郎

廣田 泰三
金剛 永謹
廣田 泰能

和田 次男 掛川 昭二
今井 克紀 今井 清隆
豊嶋 幸洋 松野 恭憲
豊嶋 晃嗣 種田 道一

◎午後四時過頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

狂言 「伊文字 (いもじ)」

独身の主人が太郎冠者を伴って良縁祈願に清水寺を訪れ、西門で待てとのご霊夢を授かった。主人と太郎冠者が清水寺の西の門で待つているとお告げのとおり女が現れ、妻になつてくれるという。そこで、女に住いを訪ねると「恋しくは訪うてもきたれ〇〇の国」と歌をかえして姿を消してしまふ。早速訪ねていこうにも肝心の「い」文字で始まる国の名を忘れてしまふ。関所を設けて道行く人に尋ねてまわりはじめるが…。無理やり聞かれた旅人もさぞや迷惑だったことでしょう。

能 「定家 (ていか)」

旧暦十月十日の初冬の夕暮れの都・上京あたり。北国より都に上つてきた僧が、俄かに降り始めた時雨をさけて近くの東屋で雨宿りをしていると、里の女が現れる。女は、此処は藤原定家卿が時雨の季節に訪れては歌を詠んだ時雨亭であると語り、二樹の陰に宿りを供にするのも他生の縁であるからと、僧を千本(上京区千本)の定家に所縁の式子内親王の墓所に伴う。内親王の石塔は葛に覆われ、その形すら見えないほどである。女は、内親王を慕う定家の恋の妄執が死してもなお葛になつて絡みつき、二人は互いの恋慕が邪淫となつて成仏をさまたげ、今も苦しみ続けているのだと語り、墓の蔭に姿を消す。

僧が経を唱えていると、石塔を覆うように絡みついてきた葛が緩み、塚の中から式子内親王の霊が現れる。斎院から下つた内親王のもとに定家が人目を忍んで通うようになった事、やがて、定家との恋が世間に知られるところとなり、互いに想いながらも会う事も叶わなくなつてしまつた事などを語り、この世を去つた後にも残る恋慕の執心が僧の読経で晴れた事を感じて石塔へ消えていく。しかし、その後姿にたちまち葛が追い払い、再び内親王の石塔は生茂る葛の陰に見えなくなつてしまつたのだ。

前シテ里女 面/曲見
後シテ式子内親王 面/瘦女

当日配布冊子 解説 神戸女子大学教授 大谷節子

京都府立大学教授 赤瀬信吾
甲南大学教授 西條隆雄

廣田 幸稔 (ひろた ゆきとし)



金剛流シテ方
先代および当代宗家・
金剛永謹と父陸一に師事
重要無形文化財保持 金剛会理事
京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

※当日解説付番組あります。

〈次回公演予定〉 第12回 廣田鑑賞会 能 平成21年 4月5日(日) 午後1時半始曲 能「隅田川」廣田幸稔 狂言 解説 権藤芳一
第13回 廣田鑑賞会 能 平成21年10月4日(日) 午後1時半始曲 能「三井寺」廣田幸稔 狂言 解説

菊之会 平成20年12月14日(日) 午後2時始曲 能「山姥」廣田泰能

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第11回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前

■お電話・FAX

■ご住所

■一般券 (8,000円) 枚 ■学生券 (3,000円) 枚

会員入会 (第11回、第12回 年2回公演分) 会員7,500円 (年会費 15,000円)

第11回のみ

※ 内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 52768) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター ●檜書店 ●京都府会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123